

# 五霞町文化協会活動広報紙

# mist (ミスト)



第 15 号

—令和元年 7月—

五霞町文化協会には現在8団体加入しています。年に一度、広報紙を発行して五霞町の皆様に活動状況等をお知らせしております。五霞町の文化意識を高め、豊かな町づくりに貢献するため、文化協会では一緒に活動して下さる団体を随時募集しています。ぜひ仲間になってください！

## <文化協会視察研修報告>

昨年度の視察研修は、10月11日(木)に8団体、27名が参加。

公民館を出たバスは圏央道を通り、つくば市の「地図と測量の科学館」に25分も早く到着。ガイドの説明で館内を案内してもらいましたが、タッチパネルでは、百年前の五霞の地図が現れ、変化の大きさに皆さん驚き、熱心に見入っていました。1階の巨大な日本全図を特殊メガネで立体化して見ると、海を含めた高低差がすごくて南海トラフが恐ろしいです。



昼食後、訪れた「ワープステーション江戸」のセットは、赤ひげなどのドラマや西郷どん、真田丸などの大河ドラマでも使われました。この日も撮影の為、残念ながら半分のセットしか見学できませんでしたが、色々な時代を体感する事ができました。最後に訪れたのは「間宮林蔵記念館」です。林蔵のゆかりの品々の展示とその一生をビデオで見て、意志の強さと行動力に敬服しました。

この視察研修は、五霞町の異なる文化グループの人たちが、同じ歴史を肌で感じられる有意義な時間だったと思います。今年度も多くの方の参加を期待しています。  
(古文書クラブ 川原記)

## 【コールみずき】

～ベテラン団員からのメッセージ～

令和を迎え、振り返ってみれば、平成の時代を25年間も“みずき”で歌ってきました。この長い刻を一緒に歩いて来た仲間、新しい仲間は趣味仲間というより、もっと近い大事な友人になっています。

昨年12月「6th コンサート」を開催することが出来ました。大勢の方々にご来場いただき、励ましのお言葉等をいただき、団員一同感謝感謝でした。このコンサートの中で星野富弘さん作詩の合唱組曲を演奏しましたが、それを聴いてくださった方が短歌を寄せてくださいました。

『星野氏の 本読みしこと幾度か 音にて味わう 言の葉やわらか』(青木初枝様作)

ご来場いただいた皆様はこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

今年は3月に「おかあさんコーラス」の茨城県大会に出場し、7月の関東大会への切符を手に入れました。今は関東大会に向けて団員一同頑張っています。

歌は活力の素です。気持ちも安定します。楽しいですよ！

一緒に歌いませんか？ ホームページ <https://chor-mizuki.jimdo.com/>

代表者:辻 せつ子



## 【英会話 Experience】

毎月2回、アニルド・アンジェロ・プエラリ先生と共に、楽しく活動しています。

文化協会に加入して4年目になり、昨年の文化祭では屋外ステージにて子供向け『英語でじゃんけんゲーム』を開催したり、コーヒーショップが恒例になっています。レッスンは大勢の中で話すため、英会話力だけでなく、コミュニケーション力、度胸もつきます。最初は羞恥心を覚えるかもしれませんが、積極的に会話に参加する事ですぐに慣れてきますよ。

来年2020年東京オリンピックには、多くの外国人が来訪されるので、とっさの一言英語で交流が図れたらいいですね。Let's start your good Experience.

英語が好きな方、興味のある方、初心者の方大歓迎です。一緒に楽しく学びましょう！



第2・4土曜日 子供英会話：9:00～10:20

大人英会話：10:30～12:30 中央公民館2F

代表者：岩村 淳子



## 【将棋愛好会】

私たち将棋愛好会は、水曜、土曜、日曜、祝日午後1時～5時まで中央公民館で、心が和むほっこりとした雰囲気の中、将棋を楽しんでいます。

また、文化協会主催の視察研修、文化祭にも参加して活動しています。ここ数年、将棋ブームに乗り会員数が年々増加して、28名になりました。会創設以来の会員数となり、私たちの会も大盛況です。将棋の好きな方、興味のある方、認知症予防にと考えている方で体験されたい方は、ぜひ中央公民館に来てください。

代表者：須釜 延芳



H30年度 文化祭

## 【五霞町の文化財を守る会】

江戸時代初期の利根川東遷で町の有様は大きく変わりましたが、五霞は縄文の昔から幾多の遺跡が残る歴史ある町です。

私たちは過去に刻まれ、現在まで時間を積み重ねてきた文化財の声を聴き、そのロマンを明かにし後世に伝える活動をしています。具体的には年一回の町内文化財調査と町外への研修旅行です。昨年度は、栗橋城の北の守護神と伝承されてきた若宮八幡宮など元栗橋に在る10の神社を調査し、町外では栃木県の古利などの史跡を訪れ、夜は鬼怒川温泉で会員相互の親睦を深めました。



文化財に興味のある方、是非、ご参加をお待ちしています。

代表者：藤沼 喜義

## 【すみれ手話サークル】

嬉しいことに昨年引き続き新しい仲間が1人増えました。  
それも若い!! 平均年齢がぐっと下がりました。

そして「手話言語条例」が茨城県でも昨年10月2日ようやく  
施行されました。今後、五霞町でも手話を「言語」として普及させる  
ための活動が広がっていくことでしょう。

今年は国体と全国障害者スポーツ大会が茨城県で開催されます。  
障害者スポーツ大会では手話通訳のボランティアとして活動する  
メンバーもいます。

すみれ手話サークルはろう者とのコミュニケーションが楽しくなる手話を  
お互いの文化を尊重し合いながら、学んでいます。ぜひ一緒に活動してみませんか？

ホームページ <http://sumire-circle-goka.jimdo.com/>

代表者：木村 美智子



I love you の手話

## 【陶芸クラブ「夢工房」】

平成30年度はクラブに3名が入会し、20名の大世帯となりました。  
芸術家～食器職人のレベルから、手作り食器を作りたいメンバーが  
集まり、自作の手作り食器で「食卓を彩る」を目標としています。

花器、抹茶茶碗、大小のお皿、湯飲み、サラダボールなど、作りたい  
陶器の要望を全てかなえる？クラブに成長しています。

また、今年も地域活動として、夏休みに「夏の子供体験教室」、文化祭での陶芸体験教室、陶芸技術向上  
のための研修等々も計画しています。

陶芸をしてみたい人、毎月第1・第3土曜日 10:00～ 中央公民館3Fでお待ちしています。

代表者：小野寺 彰



## 【古文書クラブ】

享保9年(1724)に許可された「飯沼新田開発の願い」は、2年半余りの歳月を重ね一応の完成をみ  
て、享保14年の検地では、1万4千石以上の新田が生み出されました。昨年は、その後の飯沼新田の有  
様と入植した百姓方の苦難を古文書から推察し、ゆかりの地を訪れて当時の状況に思いを馳せました。

今年は常総の旧家からお借りした江戸時代の「御定書條」の写しを読み解く予定です。



千姫ゆかりのお寺、弘教寺にて

■会場：中央公民館、■学習日時：毎月1・3木曜日 13:30～15:30

※先生もおられますので、初心者の方でも楽しめます。

古文書に関心のある方、歴史に興味のある方、ご参加をお待ちしています。

代表者：小村 隆英

## 【五霞さつき会】

今年は5月31日～6月2日、「道の駅ごか」で12回目のさつき展を開催しました。今回も約90点の作品を展示し、町内外の多くのお客様にご覧いただくことができました。皆さん、にこやかなお顔で鑑賞してください、会場内で聞こえてきた「花を見て怒る人はいない」という言葉に大きくなすきました。

次は秋の文化祭に向けて枝ぶりなどを手入れしていきます。ご期待ください。 代表者：松本 美智子



## ＜令和元年度文化協会総会＞

6月1日、令和元年度五霞町文化協会総会が染谷町長、鈴木議長、千葉教育長を来賓にお迎えし、開催されました。開会に先立ち、今年度は功労者表彰がありました。

続いて、総会では昨年度の事業報告、収支報告並びに今年度の事業計画案、収支予算案などについて審議され、大きな拍手で承認されました。

今年、文化祭は11月2日、3日に開催され、3日は五霞ふれあい祭りとの同時開催が予定されています。

文化協会として頑張りましょう！ (コールみずき 櫻井記)



## ＜文化協会功労者表彰＞

この度、文化協会功労者表彰を受賞されました樋下源一郎氏(元栗橋)は、大正14年5月19日生まれの満94歳の方で、「五霞町の文化財を守る会」の発足当時の会員であり、会長も務められました。

温厚実直な人柄から、民生委員、保護司ほか様々な役職を勤められ、さらには公民館発足時から公民館長を永年にわたり勤められました。この間、冬木貝塚の発掘があり現在、公民館に安置されている縄文人骨や土偶、土器などの保存に勉められたことは高く評価されています。

また、郷土芸能の復活や古農具、生活用具などの収集保存にも力を入れられ五霞町の文化の発展に大きく寄与されました。

(文化協会会長 藤沼記)



文化協会に加入している団体では、会員を随時募集しています。初めは見学だけでも構いません。

ご興味のある団体がございましたら、教育委員会生涯学習グループまでご連絡ください。

電話：0280(84)1460 です。お待ちしております。

五霞町文化協会活動広報紙 mist 第15号

発行日 令和元年6月27日

発行者 藤沼喜義 編集者 木村美智子

連絡先 教育委員会生涯学習G 電話 0280(84)1460

mist(ミスト)には霞、霧という意味があります。五霞町の「霞」からイメージしたタイトルで、広報紙発行の意義を唱えた文化協会赤川前々会長により命名されたものです。